

総論

満点	100点	目標得点	74点	試験時間	60分	偏差値	A:69 B:72
大問数	3	小問数	76				
【解答形式】		選択式	49/76問	記述式	23/76問	論述式	4/76問
【問題難易度】		C	9/76問	B	17/76問	A	50/76問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

1：基礎力の充実

上記の通り、慶應と言えども3分の2は基礎的な問題である。ここで落とすと合否に大きな影響を与えるので、ふだんの授業や復習で基礎事項の反復練習を心がけよう。

2：文化史は必ず出題されるので、やはりここでも差がつけられる。今年は少なかったが、大問で出されることがあるので得点源にしておきたい。

3：論述力の養成

日頃から過去問などの実戦問題をこなして、解ける力をつけておきたい。とくに論述は数をこなすことによって、書くコツと思考力が養われる。早い段階からやっておくべきであろう。

こんな力が求められる！

得点の大半は知識に頼って答えられるので、まずは一問一答問題集を行ない、基礎的な解答力を身につけたい。ただし、合否を分ける問題を答える時や論述問題を答える時は、総合的に歴史を把握しておくことが、解答をする際に必要になるので、学校の教科書なども読み、時代の流れを把握しておくべきである。

参考図書

学校の教科書。Z会一問一答2100。慶應商学部の過去問。

大問別分析

【I】

予想配点	32 / 100点	時間配分の目安	22 / 60分
出題分野・テーマ	古代から戦国時代までの法制史		
出題形式	選択20問・記述6問・論述1問(20字)		
小問別解答(番号は略)と難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (1)(2)(刑法)A (3)(4)(行政法)A (5)(6)(庚午年籍)A (7)(8)(近江令)A (9)(10)(飛鳥浄御原令)A (11)(12)(庚寅年籍)A (13)(14)(刑部親王)A (15)(16)(藤原不比等)A (17)(18)(藤原仲麻呂)B (19)(20)(嵯峨)A (21)(22)(藤原冬嗣)B (23)(24)(貞観)A (25)(26)(藤原時平)A (27)(28)(延暦)C (29)(30)(醍醐)A (31)(32)(保元)C (33)(34)(建久)C (35)(36)(悔返し権)C (37)(38)(本所法)B (39)(40)(喧嘩両成敗法)A (a)令義解A (b)令集解B (c)意見封事十二箇条A (d)惣無事令A (ア)延喜の荘園整理令A (イ)正当性の根拠となる武士社会の慣習・道徳B (ウ)塵芥集A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	3月期①4日目、3月期②2・3日目、4月期2回目、5月期2・4回目		

Benesse お茶の水ゼミナール

●解答のポイント&学習対策等

難易度が低く高得点が可能なのでA問題でのとりこぼしは致命的。B問題もできるだけ取りたい。論述問題は「武士社会の慣習」という語句があれば正答となる。

【Ⅱ】

予想配点 36 / 100 点	時間配分の目安 15 / 60 分
出題分野・テーマ 江戸時代の政治改革と教育	
出題形式 選択 11 問・記述 13 問	
小問別解答(番号は略)と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (41)(42)(上げ米)A (43)(44)(100)A (45)(46)(1)C (47)(48)(検見)A (49)(50)(定免)A (51)(52)(天明)A (53)(54)(囲米)A (55)(56)(50)B (57)(58)(林家)A (59)(60)(明倫館)B (61)(62)(造士館)A (あ)徳川吉宗A (い)田沼意次A (う)松平定信A (e)権現B (f)新田B (g)米市場A (h)株仲間A (i)俵物B (j)杉田玄白C (k)七分積金(七分金積立)A (l)朱子学A (m)懐徳堂A (n)富永仲基B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 6月期4回目、7月期1回目、10月期3回目	

●解答のポイント&学習対策等

ここも難問は少ないが、(45)(46)は山川の教科書の欄外の注にあり、教科書の熟読が必要とされる。藩校をどれだけ覚えていたかというのも、合否のポイントであろう。

【Ⅲ】

予想配点 32 / 100 点	時間配分の目安 23 / 60 分
出題分野・テーマ 二・二六事件後の政治・社会状況	
出題形式 選択 18 問・記述 4 問・論述 3 問(20 字 2 問、25 字 1 問)	
小問別解答(番号は略)と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (63)(64)(永井荷風)C (65)(66)(ポツダム宣言)A (67)(68)(田中義一)A (69)(70)(蔣介石)A (71)(72)(張作霖)A (73)(74)(金)A (75)(76)(昭和恐慌)A (77)(78)(労働争議)B (79)(80)(生糸)A (81)(82)(小作争議)B (83)(84)(ロンドン海軍軍縮会議)A (85)(86)(柳条湖)A (87)(88)(十五年)C (89)(90)(第一次上海)A (91)(92)(国際連盟)A (93)(94)(桐生悠々)C (95)(96)(蟹工船)A (97)(98)(盧溝橋)A (o)二・二六A (p)統帥権干犯B (q)満州事変A (r)小林多喜二A (エ)①旅順・大連をふくむ関東州の租借権 B ②長春・旅順間の鉄道とその付属の利権B (オ)国民政府と共産党との内戦停止と抗日の統一戦線結成B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 夏期講習近現代Ⅰ4日目、近現代Ⅱ3・4・5日目	

●解答のポイント&学習対策等

田中義一内閣から盧溝橋事件までの流れがつかめていればさほど難しくはない。桐生悠々は早稲田でも出題例があるので押さえておくと良いだろう。論述はポーツマス条約の内容と西安事件前後の歴史の動きがつかめているかがポイントとなる。